

令和 8 年度「教育に関する事務の管理及び執行
状況の点検・評価」報告書

阿久根市教育委員会

1 「点検・評価」の趣旨

「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」（以下「法」という。）第26条の規定により、教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況について、点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表することとなっています。

【参考】 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

（教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等）

第26条 教育委員会は、毎年、その権限に属する事務（前条第1項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務（同条第4項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。）を含む。）の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

阿久根市教育委員会では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たすため、「教育委員会の点検・評価」を実施し報告書をまとめました。

なお、点検・評価の内容や報告書の様式、議会への報告方法などは、市教育委員会で決定することとなっています。

2 教育委員会の概要

(1) 教育委員会の趣旨

教育に関しては、教育の機会均等、教育水準の維持・向上、地域の実情に応じた教育の振興を図るため、地方公共団体の長から独立した行政機関として「教育委員会」が置かれ、それぞれに属する権限の範囲内で相互に対等かつ独立して事務を執行しています。

よって、市の学校教育、社会教育、スポーツ、文化財等についての具体的な方針や施策は、この「教育委員会」の合議で決定されることになります。

(2) 教育委員会制度

阿久根市教育委員会は、教育長及び4人の委員で構成されており、教育長及び委員は市長が市議会の同意を得て任命します。

教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表します。

また、市長は、教育行政の大綱の策定や教育の条件整備など、重点的に講ずべき施策等について協議・調整を行うため、総合教育会議を設置しています。

(3) 教育委員の構成

(令和8年6月1日現在)

職 名	氏 名	任 期	期数	備 考
教 育 長	中 野 正 弘	令和6年5月11日 ～令和9年5月10日	3	
委 員 (教育長職務代理者)	上 池 浩 策	令和7年7月1日 ～令和11年6月30日	1	
委 員	中 野 真 理	令和5年10月1日 ～令和9年9月30日	5	
委 員	西 園 敦 子	令和5年2月17日 ～令和9年2月16日	4	
委 員	原 田 大 輔	令和7年10月1日 ～令和11年9月30日	1	

3 「点検・評価」の内容等

(1) 事務内容等の決定

教育委員会が管理・執行する事務は、広範囲に及んでいます。

そこで、教育委員会事務局各課において、阿久根市教育振興基本計画の各課の事業について、令和7年度中の「点検・評価」を実施しました。

(2) 「点検・評価」の手順

点検・評価の実施に当たっては、令和7年度の活動や実施状況についてAからDの評価区分に基づき各課で自己評価を行い、その進捗状況や成果・課題を把握した上で特記事項としてまとめました。

4 全体的な教育予算及び主要事業

令和7年度の教育費の予算総額は15億8,843万円（補正第8号現在）で、市の一般会計予算総額151億8,448万円（補正第8号現在）の10.46%を占めており、教育費の予算総額は、対前年度比6.86%（令和6年度決算14億8,647万円）、1億196万円の増額となっています。

教育総務課では、学校の統・廃合に係る尾崎小、田代小、鶴川内中及び阿久根中の対応について、総合教育会議や学校規模適正化協議会において議論を重ね方針を決定し、保護者及び地域住民

への説明・意見交換会を全小・中学校区で開催しました。

今後も、説明・意見交換会を開催して意見等を伺うとともに、関係機関等との検討を重ね、学校規模の適正化を推進します。

学校施設の整備については、長寿命化計画に基づき、令和6年度から阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟の改修工事を実施し、令和7年度に完成しました。また、折多小学校及び鶴川内中学校屋内運動場非構造部材落下防止等対策工事、阿久根中学校屋内運動場屋根防水改修工事等を実施しました。今後も、老朽化に係る改修工事等を計画的に実施していきます。

その他、各学校施設の軽微な維持修繕や特別教室等の8か所に空調機を設置するなど、児童生徒が安全に安心して学校生活が過ごせるよう環境整備に努めました。

学校教育課では、諸学力調査の結果分析を基に、児童生徒一人一人の実態に応じた学力向上をめざして、小・中・高学力向上研修会の内容を充実するとともに、「学習者主体の授業」づくり研修として、管理職研修会等での指導に加え、日々の各学校の研究実践に寄り添う指導及び助言を継続してきました。その結果、年々授業改善を図ることができています。

また、各校種の児童生徒が一同に集い、一人一人の個性・多様性を尊重し、自発的・自治的で協働的な体験活動を通して、阿久根市民としての所属感や連帯感を深め、一体感を醸成し、ふるさと阿久根に対する誇りと愛着を高める取組を実施しました。

さらに、教員の業務支援を図り、教員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備するとともに、児童生徒の個別最適な学びの実現を目的として、地域の人材を学校に配置する特別支援教育支援員や学習指導支援員、スクール・サポート・スタッフ（SSS）等の配置事業に取り組みました。

生涯学習課では、市民一人一人が豊かな人生を送ることができるよう、生涯学習の推進や社会教育、自主文化事業に取り組みました。

社会教育事業では、阿久根の自然を活用した四季折々の体験活動を目的に実施している「あくねよかこキッズスクール」において、故郷の歴史を学び、阿久根大島や阿久根の自然を満喫した活動や地域の方々とのふれあいを通して郷土を愛する心を育み、学校や学年を越えた仲間との交流、体験活動を充実させることができました。

また、生涯学習講座や高齢者学級においては、市民の学習環境

の充実と生きがいづくりに努め、公民館活動ではワークショップ型の研修会を開催し、各自治公民館における課題及び改善策について協議を行いました。

自主文化事業では、吹奏楽フェスティバルを始めとする各種コンサートやシネマパラダイス等を開催し、幅広い年代の方に来場していただきました。

スポーツ推進課では、スポーツの振興や交流人口の拡大のためにボンタンロードレース大会や、阿久根市長旗九州選抜高等学校駅伝競走大会等の大規模イベントを実施しました。また、昨年度に引き続き、大学、社会人、プロの野球の交流戦である「薩摩おいどんリーグ」を本市野球場でも開催するなど、スポーツイベントを通して集客を図り、市の活性化に寄与しました。

スポーツ合宿では、県ボクシング連盟や立教大学野球部に加え、本市初となる帝京長岡高校硬式野球部を受入れました。

また、生涯スポーツの推進を図るため、総合運動公園の施設を利用して「チャレンジアップスイミング」や「各種健康運動教室」を開催し、健康の保持増進、気軽に楽しくスポーツに参加できる環境づくりに努めました。

学校給食センターでは、地産地消の推進及び地元の特産品や産業等について学ぶ「学校給食地産地消推進事業」として、地元産食材を活用した給食を計6回実施しました。また、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金を一部活用し、給食費値上げ分及び物価高騰分の補助を行いました。

【 1 教育委員会の令和7年度活動内容】

（教育委員会機能の充実と活性化）

項 目	内 容	活動指標		成果・課題
1 教育委員会会議の運営改善	・教育委員会定例会及び臨時会の開催	開 催 回 数	13回	阿久根市教育委員会の行政組織等に関する規則に基づき開催(原則毎月10日に定例会、必要に応じ臨時会を開催)し、教育委員会の基本方針を初め、規則・要綱等の制定・改正・予算等についての議案などを審議・議決した。
	・教育委員会会議の運営上の努力			議案等の会議資料を各委員に事前配布をしているが、会議の充実・効率化に向けてさらに工夫を図る必要がある。

	・移動教育委員会の開催	開 催 回 数	0 回	実施しなかった。
2 教育委員会会議の公開、住民への情報発信	・教育委員会会議の傍聴者の状況	傍 聴 者 数	10人	委員会の開催日程は、ホームページで周知している。
	・教育委員会会議記録の公開の状況	情 報 公 開 請 求 件 数	0 件	教育委員会の会議録は記録者が作成し、教育委員の署名により承認している。また、会議録は、平成28年度からホームページで公開している。
	・移動教育委員会の状況	開 催 回 数	0 回	実施しなかった。
3 教育委員と事務局との連携	・教育委員会における情報の共有		定例教育委員会時及び随時	定例教育委員会等において、教育委員の事務執行報告及び事務局の行事等についての報告を行い、情報の共有を図っている。
4 教育委員の研修体制の充実	・研修会等への参加	参 加 回 数	3 回	国・県の研修会への参加し、教育分野における諸問題を解決できる能力の向上に努めた。
5 学校等の教育施設の訪問等	・教育委員訪問	訪 問 回 数	4 回	教育委員訪問については4校実施し、学校の運営状況の聴取及び学校施設の視察を行っている。 訪問のない6校については、定例教育委員会後に学校経営説明会を開催し、各校長から説明を受けている。
	・その他の学校訪問など	訪 問 回 数	随時	学校行事以外の市中学校英語暗唱・弁論大会や二十歳のつどい、市長旗九州選抜高校駅伝競走大会などのスポーツ、文化や生涯学習分野への参加、また、学校規模適正化協議会の委員として、将来の学校規模の在り方に関し、保護者や地域の代表者と意見を交わすなど、積極的に参加した。

自己（各課）評価基準

評価	評価区分	考え方
A	・計画通り進んでいる ・十分な成果が見える	優れた取組みや状況等が見られ、改善を必要せず、計画通り順調に進んでいる
B	・概ね計画通り進んでいる ・成果が見える	良い取組みや状況が見られ、若干の課題もあるが、概ね計画通りに進んでいる
C	・計画がやや遅れがちである ・成果が見えるが改善が必要	一定の成果が見られるものの、課題も見られ、計画もやや遅れがちである
D	・計画が大幅に遅れている ・抜本的な見直しが必要	課題が多く着手できていないか、着手したが成果が見られず計画も遅れがちである

教育基本計画にかかる各課の事業一覧と自己評価

方向性

1 子供の可能性を伸ばします

〈主体的、相互の学び〉

基本施策

(1) 確かな学力の定着

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学力実態把握事業	各種学力検査により、児童生徒の学力の実態を把握します。	学校教育課	A	A	A	A	A	継続した取組から、各種調査で成果が表れている。
教科・領域等部会研修事業	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学校教育課	B	B	B	B	B	概ね計画通りに進んでいるが、教科によって改善を図る必要がある。
小・中・高学力向上研修会	小・中学校と鶴翔高等学校が共通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組めます。	学校教育課	A	A	A	A	A	鶴翔高校・鶴川内中・折多小が授業を提供して、研修会を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上の改善が図られている。
校内研修指導	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の希望に応じ、計画通り派遣できており、その他の研修も行った。
英語指導法研修会	研究授業を通して、英語の指導法について研修	学校教育課	A	A	A	A	A	市で統一したCan-doリストを基に、小・中学校

	を行います。							で連携し、計画通り実施できた。
土曜授業	指定月の第2土曜日に3時間の授業を実施し、基礎学力等の定着を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施し、時数を確保するとともに、目的に応じた教育活動ができた。
年次別研修の充実	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ、ベテラン研修を支援し、授業研究等を通して指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施し、各対象の教諭の指導力向上につながった。

(2) 特別支援教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特別支援教育支援員配置事業	特別な支援を必要とする通常学級に在籍する児童生徒に対する支援を図ります。	学校教育課	B	A	A	A	A	全学校に継続して支援員を配置することで、支援の充実を図ることができた。
就学相談事業	児童生徒の実態に応じた教育支援を行うために、就学相談を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	学校や園、保護者の要望から、児童生徒の実態に応じて実施できた。
特別支援学校連携事業	特別支援学校と連携を図り、適切な就学のための相談活動を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	児童生徒の実態に応じて、連携を図りながら計画通り実施できた。
特別支援教育に関する研修会	障害の内容及程度に応じた適切な指導法等に関する研修を行い、教職員の指導	学校教育課	B	A	A	A	A	園や療育機関、学校から多くの参加があり、研修の企画・運営や協議内容の充実を

	力の一層の向上を図ります。							図ることができた。
特別支援教育部会研修会	個別の事例への対応法等に関する研修を行い、特別支援教育担当教員の指導力の一層の向上を図ります。	学校教育課	B	B	B	A	A	外部講師による研修会等により、更に専門的な内容が充実し、担当教員の指導力向上を図ることができた。
市教育支援委員会	子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するために、乳幼児期を含め早期から教育相談や就学相談を行うとともに、本人・保護者に十分情報を提供し、本人・保護者と学校、教育委員会が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を図れるよう、教育支援委員会を実施します。	学校教育課	A	A	A	A	A	対象の幼児及び児童生徒に対して、専門家を委員として適切に就学相談及び就学判断を行った。

(3) 主体的・対話的で深い学びの実現

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教科・領域等部会研修事業(再掲)	教科・領域ごとに部会を編成し、それぞれの指導法改善に向けて研修を行います。	学校教育課	B	B	B	B	B	概ね計画通りに進んでいるが、教科によって改善を図る必要がある。
小・中・高学力	小・中学校と鶴翔高等学校が共	学校教育課	A	A	A	A	A	鶴翔高校・鶴川内中・折多小が授

向 上 研 修 会 (再掲)	通のテーマを設定し、研究授業を通して学習指導法の改善に取り組めます。							業を提供して、研修会を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上の改善が図られている。
校 内 研 修 指 導 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて、指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	各学校の希望に応じ、計画通り派遣できており、その他の研修も行った。
英 語 指 導 法 研 修 会 (再掲)	研究授業を通して、英語の指導法について研修を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	市で統一したCan-doリストを基に、小・中学校で連携し、計画通り実施できた。

〈創造する力の育成〉

基本施策

(1) キャリア教育（あくねよかこ教育）の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくね よかこ 教 育 事 業	児童生徒に、進んで地域とつながり、地域のよさを知り、わかったことを発信することを通して、ふるさとへの愛着と誇りを醸成し、自分の将来を切り拓き、自立して生きていく力を育成するためのキャリア教育を推進します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	各学校で、児童生徒及び地域の実態に応じたキャリア教育の充実を図ることができた。 また、スコラ手帳の更なる活用が進んだ。

(2) ICT環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
G I G A ス ク ー ル 事 業	小・中学校の全児童生徒に配備した1人1台の学習用端末等のICT機器の効果的な活用による教育環境の向上を図ります。	教育総務課	A	A	B	B	A	令和7年度の夏季休業中の端末更新に向けて準備を進めた。補修等にも、その都度迅速に対応することができた。
市 I C T 活 用 研 修 会	1人1台の端末を活用した授業改善の方向性や、具体的な実践について説明する研修会を実施します。	学校教育課	A	A	B	A	A	各学校の担当者と連携を図ることができた。また、演習や実習を取り入れた研修により、充実した取組ができた。
I C T ソ フ ト 説 明 会	校務支援ソフトやプログラミング教材の活用方法に関する研修会を行います。	学校教育課	A	A	B	A	A	年間2回、計画通り実施できた。校務支援員と協力し、具体的な説明を個別に行い、市共通の取組ができた。

(3) 豊かな感性や想像力を育む教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 図 画 作 品 展	児童生徒の美術的表現力の向上に期するため、図画作品を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施した。県に出品した作品については、「こころを紡ぐメッセージ」作品集の挿絵として活用した。
市 作 文 コ ン ク	児童生徒の作文力の向上に期	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施した。入賞作品に

ー ル	するため、作文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。							については、作品集「文集あくね」を作成して掲載した。
市 読 書 感 想 文 コンク ー ル	児童生徒の想像力の育成、表現力の向上に期するため、感想文を募集するとともに、審査会を行い、表彰します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り実施した。 入賞作品については、作品集「文集あくね」を作成して掲載した。
市 小 ・ 中 ・ 高 合 同 音 楽 会	児童生徒の音楽的表現力の向上に期するとともに、専用ホールでの演奏及び鑑賞を体験させるため、音楽会を実施します。	学 校 教 育 課	B	—	A	A	—	「小学生交流ボッチャ大会」を行うことにしたことから、本事業は廃止した。
市 中 学 校 弁 論 大 会	児童生徒に、自分の考えを多くの人前で発表できる態度や表現力を育成するために弁論大会を実施します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り実施した。 家庭等から観覧できるオンライン配信も行った。

〈学びや成長の連続性〉

基本施策

(1) 幼・保・小連携の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 教 育 支 援 委 員 会 (再掲)	子供一人一人の教育的ニーズに応じた支援を保障するために、乳幼児期を含め早期から教育相	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	対象の幼児及び児童生徒に対して、専門家を委員として適切に就学相談及び就学判断を行った。

	談や就学相談を行うとともに、本人・保護者に十分情報を提供し、本人・保護者と学校、教育委員会が教育的ニーズと必要な支援について合意形成を図れるよう、教育支援委員会を実施します。							
幼・保・小連絡会	入学予定の小学校において、子供一人一人が生活の変化に対応し、義務教育及びその後の教育において、実り多い生活や学習を展開できるよう、保育園やこども園と小学校が相互に教育内容を理解したり、子供同士の交流を図ったり、指導方法の工夫改善を図ったりなどすることを目的として実施します。	学校教育課	B	B	A	A	A	昨年度までの課題や成果の引継を基に、各園、各小・中学校、高等学校、各事業所の担当者が一同に集まって協議を行い、計画通り実施できた。
スタートカリキュラム	小学校へ入学した子供が、幼稚園・保育園・認定こども園などの遊びや生活を通じた学びと育ち	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校において作成及び見直しを図り、新入生への指導に活用した。

	を基礎として、主体的に自己を発揮し、新しい学校生活を創り出していくためのカリキュラムを、各小学校において作成するとともに、実際の学校生活で活用します。							
--	---	--	--	--	--	--	--	--

(2) 小中一貫教育の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中一貫教育推進事業	小・中連携の指導体制による小中一貫教育(連携型)の研究校(小2・中1)を指定し、指定校に「小・中一貫教育推進協議会」を設置します。	学校教育課	B	A	A	A	A	共通の学校教育目標、めざす子供像、教師像を設定し、年3回の合同学校運営協議会を開催することで、更なる推進を図った。

(3) 体力・運動能力の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体力・運動能力調査事業	体力・運動能力調査の結果をもとに、指導の充実を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施し、各学校の課題が明確になり、指導に活用することができた。
教科体育の充実と体力づくり活動の推進	「一校一運動」の推進や「体力アップ! チャレンジかごしま」への取組の推進、学校体育の充実のため	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施し、全学校が「体力アップ! チャレンジかごしま」に取り組むことができた。

	めの研修会を開催します。							
小 学 校 陸 上 記 録 会	陸上記録会を開催し、記録向上等に向けて、小学校体育の充実を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	—	これまでの反省を生かし、水泳記録会は、今後開催しないことになった。陸上記録会は雨天のため実施できず、各学校で行った。
武 道 等 地 域 連 携 推 進 事 業	外部指導者の派遣や研修会への参加を通して、中学校の武道等の安全確保及び指導の充実を図ります。	学 校 教 育 課	B	B	B	B	A	外部指導者の派遣はなかったが、各学校の担当が研修会に参加した。
競 技 会 等 出 場 補 助 事 業	中学校の県外試合出場等の助成を行います。	学 校 教 育 課	A	B	B	B	—	令和7年度の文化系部活動については実績がなかった。

〈支え合いの醸成〉

基本施策

(1) 考え・議論する道德教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 道 徳 教 育 指 導 法 研 修 会	学校を会場に、各学校の道德教育推進教員及び管理職等を対象に、研究授業を通した研修を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	阿久根中学校で、計画通り実施できた。市内全ての学校から参加があった。
校 内 研 修 会 へ の 指 導 主 事 等 の 派 遣	校内研修を通して、道德の時間における指導法及び道德教育全般に係る指導・助	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	各学校の要望に応じて計画通り派遣し、適切な指導・助言ができた。

	言を行います。							
こころを紡ぐメッセージコンクール	児童生徒と保護者との心の交流を図り、互いの存在について、考えを深め合う言葉の作品を募集し、作品集を作ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施できた。 全学校から608点のメッセージの応募があり、20点の入賞作品を掲載した作品集を作成した。

(2) 人権教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
人権教育推進事業	各種研修会への参加及び校内研修の充実を図ります。	学校教育課	B	A	A	A	A	計画通り、各学校の研修会への講話等を実施できた。また、管理職研修会や校内研修を実施し、その重要性について、繰り返し指導を行った。

(3) 体験活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
体験活動の推進	食農教育や文化継承活動など、地域に根ざした体験活動を推進します。	学校教育課	B	A	A	A	A	各学校が、計画通り実施できた。
集団宿泊学習支援事業	集団宿泊学習への補助を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校において工夫した内容で実施できた。

方向性

2 魅力ある学校をつくります

〈安心して学べる学校〉

基本施策

(1) 安全・安心な学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設等維持補修事業	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総務課	B	B	B	B	B	校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付けて施設の維持・修繕に努めた。
学校施設等整備事業	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C	C	B	阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟長寿命化改修工事を実施し、学習環境の改善を図ることができた。 トイレの洋式化については、今後のトイレ改修工事に向けて、阿久根小学校、脇本小学校、三笠中学校のトイレ改修工事設計業務を発注し、完了した。
教職員住宅維持管理	老朽化した教職員(校長・教頭)住宅の維持修繕	教育総務課	B	B	B	B	B	老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加してい

事業	等を行います。							るが、適切に対応し、概ね維持することができた。
----	---------	--	--	--	--	--	--	-------------------------

(2) 生徒指導の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県スクールカウンセラー配置事業	問題行動、不登校等に適切に対応するために、スクールカウンセラーを配置します。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の要望に応じて適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー配置事業	関係機関との連携・調整を図り、児童生徒に関する諸問題の解決を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の要望を受けて派遣を行い、諸問題等を解決できた。
いじめ等相談事業	問題行動・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・指導のため、臨床心理士等による教育相談を実施します。	学校教育課	A	A	A	A	A	相談件数は、0件であった。学校の要請に応じて対応できる態勢が整っている。
市中学生会議	各中学校の生徒会を中心に、中学生を取り巻く課題について協議する会議を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	「あくね中学生の日」内で実施し、各学校の取組や諸課題について協議を行うことができた。
カウンセリング研修会（隔年）	カウンセリング技術、日常的な児童生徒への接し方等に関する研修を行います。	学校教育課	—	—	—	—	—	令和7年度の実施はなかった。
生活指導研究	児童生徒の健全な成長を図る	学校教育課	A	A	A	A	A	魅力ある学校づくりの取組、授

協 議 会	ために、全職員一丸となった指導態勢の確立及び具体的な指導についての研修を行います。							業に内在する生徒指導の充実、生徒指導の視点に基づく授業設計等についての協議を行った。
い じ め 問 題 対 策 連 絡 協 議 会 い じ め 問 題 対 策 委 員 会	「いじめ防止基本方針」に基づき、いじめ防止対策について協議等を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	学校の取組や阿久根市いじめ防止基本方針について協議を行い、出された意見を基に、各学校へ指導を行った。
自 立 支 援 教 室 (あ く ね す)	不登校の状況にある児童生徒を対象に、相談、学習等を行い、学校復帰への支援を行います。	学 校 教 育 課	A	B	A	A	A	5名が通室した。今後も、不登校の児童生徒にあくねすを紹介するよう、各学校に指導する。

(3) 良好な人間関係・集団づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
「こころを紡ぐメッセージ」コンクール (再掲)	児童生徒と保護者との心の交流を図るとともに、互いの存在について考えを深め合うことにより、豊かな心の育成を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り実施できた。全学校から608点のメッセージの応募があり、20点の入賞作品を掲載した作品集を作成した。
道 徳 教 育 推 進 事 業 (再掲)	学校や地域の特色を生かした道徳教育の工夫・改善を図り、学校・家庭・地域が連携・協力し、児	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	阿久根中学校で、計画通り実施できた。市内全ての学校から参加があった。

	児童生徒の道徳性の育成に努めます。							
市道徳教育指導法研修会 (再掲)	研究授業を通じた研修会を開催し、具体的な道徳授業の指導方法について研修します。	学校教育課	A	A	A	A	A	阿久根中学校で、計画通り実施できた。市内全ての学校から参加があった。
県スクールカウンセラー配置事業 (再掲)	スクールカウンセラーを配置し、問題行動、不登校等に適切に対応します	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の要望に応え、適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー配置事業 (再掲)	スクールソーシャルワーカーを配置し、関係機関等との連携・調整を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の要望を受けて派遣を行い、諸問題等を解決できた。
いじめ等相談事業 (再掲)	問題行動・いじめ・不登校等の未然防止、早期発見・指導のため、臨床心理士等による教育相談を実施します。	学校教育課	A	A	A	A	A	相談件数は、0件であった。学校の要請に応じて対応できる態勢が整っている。

〈地域とつながる学校〉

(1) 学校経営の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校長研修会	年5回、校長を対象にした研修会を実施し、学校経営等に係る指	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行

	導・助言等を行います。							い、各学校における取組に生かすことができた。
教 頭 研 修 会	年5回、教頭を対象にした研修会を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
学 校 訪 問 学 校 経 営 説 明 会	教育委員と事務局職員による学校訪問を実施し、学校運営等に係る指導・助言等を行います。 教育委員の訪問を実施しなかった学校については、学校経営説明会を実施し、校長が教育委員に学校の状況等の説明を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り実施することができた。 全ての学校に学校運営に係る指導・助言を行うことができた。

(2) 学校運営協議会の設置・推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 運 営 協 議 会	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、各学期の活動等についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	全ての学校が学校運営協議会を設置するとともに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。

	等について確認 します。							
--	-----------------	--	--	--	--	--	--	--

(3) 開かれた学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学 校 運 営 協 議 会	地域住民による学校訪問や授業参観の機会を増やすとともに、学校教育活動への評価・提言を行う学校運営協議会を計画的に実施します。	学校教 育 課	A	A	A	A	A	全ての学校が学校運営協議会を設置するとともに、学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
「信 頼 さ れ る 学 校 づ く り の た め の 委 員 会」 事 業	教職員のモラルや規範意識の向上のための「信頼される学校づくりのための委員会」を、年間3回開催します。	学校教 育 課	A	A	A	A	A	各学校で、年5回の学校運営協議会において、服務規律の厳正確保に向けた取組を公表した。

〈いきいきと働く教職員〉

(1) 教職員の働き方改革の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
特 定 事 業 主 行 動 計 画	仕事と家庭の両立及びワーク・ライフ・バランスの実現等を支援するために策定し、次世代育成支援対策を推進します。	学校教 育 課	A	A	A	A	A	出産補助休暇や育児休暇等を取得しやすい環境づくりに努めた。
校 務 支 援	新学習指導要領の全面実施に係り、ICT教育を進めるための	教育総 務 課 学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	通知表や指導要録の作成において、校務支援システムを活用し

	整備、校務支援システムの構築を図ります。							た。2つが連動することにより、大幅な業務改善に寄与している。また、校務支援システムについては、構築できた。
働き方改革に関する意識改革	意識啓発のために、各学校における取組を共有する場を設けるとともに、各学校への具体の働き掛けを推進します。	学校教育課	A	A	A	A	A	学校の意識改革が推進され、市全体の教頭の業務時間は年々減っている。
スクール・サポート・スタッフ（SSS）配置事業	教職員の業務支援を図り、教職員が一層児童生徒への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学校教育課	A	A	A	A	A	県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

(2) 学校の業務改善の支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中学校における業務改善方針	教職員の業務の総量の削減を図り、質の高い教育の維持・発展を図るため、「小・中学校における業務改善方針」を踏まえ、実行可能な取組を速やかに	学校教育課	A	A	A	A	A	校務支援システムの導入や学校行事の見直し等により、教頭の超過勤務時間を軽減できた。また、質の高い教育の維持・発展のため、授業の在り方

	実施します。							等について継続して指導した。
リフレッシュウィーク	毎年8月11日から17日の期間をリフレッシュウィークと設定します。この期間は、学校行事等を実施しないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくります。	学校教育課	A	A	A	A	A	期間中に行事等を設定せず、計画通りに実施することができた。
夏季休業日の学校閉庁日	毎年8月13日から15日の期間を学校閉庁日と設定します。この期間は、特に勤務を必要としないこととし、休暇を取得しやすい環境をつくります。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施した。各学校において休暇を取得しやすい環境を整備した。
部活動休業日	中学校は、週2日（平日1日及び週休日1日）の部活動の休業日を設定します。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の部活動ガイドラインに沿って、適切に実施された。

(3) チーム体制の構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教職員の人事評価制度の積極的活用	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう	学校教育課	A	A	A	A	A	管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施さ

	う、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。							れた。
小 学 校 高 学 年 に お け る 一 部 教 科 担 任 制 の 導 入	小学校において、学年が上がるにつれて学校に困り感を抱く児童が増える教科において、専科教員が教える教科担任制に取り組みます。	学 校 教 育 課	B	B	A	A	A	小学校英語専科指導力加配を活用した外国語の指導を行った。
ス ク ー ル・サポ ー ト・ス タ ッ プ (S S S) 配 置 事 業 (再掲)	主として教員の業務支援を図り、教員が一層児童への指導や教材研究等に注力できる体制を整備することを目的に、多様な地域人材を活用する取組を実施します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	県の補助を受け、阿久根小学校に1名を配置した。職員の業務を軽減することができた。

〈学び続ける教職員〉

(1) 教職員の資質の向上

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
校 長 研 修 会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校経営等に係る指導・助言等を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り年5回実施するとともに、課題を基に協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
教 頭 研 修 会 (再掲)	年5回、研修会を実施し、学校運営等に係る指導・	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り年5回実施するとともに、課題を基に

	助言等を行います。							協議や演習を行い、各学校における取組に生かすことができた。
校内研修会への指導主事等の派遣 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	年間 56 回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化できた。
教職員の人事評価制度の積極的活用 (再掲)	管理職の日々の授業参観等に基づいた職員指導と評価の在り方について指導・助言を行い、教職員の一層の資質向上が図れるよう、教職員の人事評価制度を積極的に推進します。	学校教育課	A	A	A	A	A	管理職研修会において、職員の人事評価やその後のフィードバックについて研修した。各学校において、人事評価が適切に実施された。
市指定研究協力校制度	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へも還元します。	学校教育課	A	A	A	A	A	阿久根中学校で、計画通り市道徳教育研修会を実施できた。
年次別研修 (再掲)	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研修等を通して指導・助言を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施するとともに、指導法改善及び職員の資質向上を図ることができた。
臨時的任用教員等研修	臨時的任用教員等を対象に研修会を実施し、教職員の資質向上	学校教育課	A	A	A	A	A	令和 6 年度から、「学習者主体の授業」づくり研修会として参加

	と授業力向上を図ります。							者を拡大し、協議を行った。
「かごしま教員育成指標」の積極的活用	教職員が効果的・継続的に研修に取り組み、キャリアアップを図ることができるよう、県が作成した教員育成指標を積極的に活用します。	学校教育課	A	A	A	A	A	管理職研修会において研修履歴システムについて説明し、各学校における教員育成指標を基にした活用が図られた。
「信頼される学校づくりのための委員会」事業 (再掲)	教職員のモラルや規範意識の向上のための委員会(学校運営協議会)を年間3回開催します。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校で、年5回の学校運営協議会において、服務規律の厳正確保に向けた取組を公表した。

(2) 学び続ける教職員の環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学び続ける教職員の支援	教職員が効果的・継続的に研修に取り組み、キャリアアップを図ることができるよう、県が作成した教員育成指標を積極的に活用します。	学校教育課	A	A	A	A	A	管理職研修会において研修履歴システムについて説明し、各学校における教員育成指標を基にした活用が図られた。
臨時的任用教員等研修 (再掲)	臨時的任用教員等を対象に研修会を実施し、教職員の資質向上と授業力向上を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	令和6年度から「学習者主体の授業」づくり研修会として参加者を拡大し、協議を行った。

校 内 研 修 会 へ の 指 導 主 事 等 の 派 遣 (再掲)	校内研修に指導主事等を派遣し、学習指導法の改善に向けて指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	年間 56 回の指導・助言を行い、本市における学力向上の取組を平準化できた。
市 指 定 研 究 協 力 校 制 度 (再掲)	市の研究協力校として学校を指定し、研修支援を行い、研究成果を他校へ還元します。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	阿久根中学校で、計画通り市道徳教育研修会を実施できた。
年 次 別 研 修 (再掲)	フレッシュ、ステップアップ、パワーアップ研修を支援し、授業研修等を通して指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	計画通り実施するとともに、指導法改善及び職員の資質向上を図ることができた。

(3) 社会の変化に対応した人材の育成の強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
情 報 教 育 の サ ポート	パソコンやインターネット、書画カメラ等の情報機器の学習指導への活用について指導・助言を行います。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	校内 I C T 研修会及び研究授業等で指導・助言を行った。
プ ロ グ ラ ミ ン グ 教 育	各学校において、プログラミングを体験しながらコンピュータに意図した処理を行わせる等、論理的思考力を身に付けるための	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	各小学校に年間 5 回教材を貸し出し、計画的に活用するとともに、ビジュアルプログラミング教材の研修を行った。

	学習活動を推進します。							
環境教育	各学校や地域の実態に応じた環境教育を推進します。	学校教育課	A	A	A	A	A	脇本小学校のウミガメ保全など、各学校で体験活動を通した環境教育を行った。
福祉・ボランティア活動	発達段階を踏まえた「福祉の心」を育てる教育の推進を図ります。	学校教育課	B	A	B	B	A	各学校において適切に実施した。 見届け等による評価に課題がある。
消費者教育・租税教育・金融教育	金銭・金融感覚をもった児童生徒の育成を図る教育を推進します。	学校教育課	A	A	A	A	A	教育課程に位置付け、教科の内容として各学校が実施するよう指導した。

方向性

3 教育環境の充実を図ります

〈家庭教育の支援〉

基本施策

(1) 家庭の教育力の向上と家庭への支援

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
就学援助費支給事業	経済的な理由により就学が困難と認められる児童生徒の保護者に、就学援助費を支給します。	教育総務課	A	A	A	A	A	就学援助費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
特別支援教育就学奨励費支給事業	特別支援学級に就学している児童生徒の保護者の経済的負担を軽減するため、就学奨励費を支給します。	教育総務課	A	A	A	A	A	特別支援教育就学奨励費を支給することで、保護者の経済的負担の軽減が図られた。
奨学金貸付事業	経済的な理由により、大学などへの就(修)学が困難な学生に対し、奨学金を支給します。	教育総務課	A	A	A	A	A	奨学金を貸し付け、就学が困難な学生への経済的負担の軽減が図られた。
濱風ゆめみらい奨学金貸付事業	医学を学ぶ者及び外国の大学等に留学する者に対し、奨学金を支給します。	教育総務課	C	C	A	A	A	奨学金を貸し付け、経済的負担の軽減が図られた。
家庭教育支援事業	関係団体との連携や家庭教育学級の開設により、家庭教育力の向上を図ります。	生涯学習課	B	A	A	B	A	市P連・市子連の合同研修会において、親子で参加する講座を実施した。全小・中学校において家

								庭教育学級を開 設し、家庭教育力 の向上を図った。 今年度は、本課 職員を派遣し、子 育てや食について の講話を行った。
学 習 サ ポ ー ト 教 室	経済的な理由 などにより、学習 環境面で悩みを 抱えている世帯 の子供を対象に 「学習サポート 教室」を開催しま す。	福 祉 課	B	C	B	B	B	貧 困 世 帯 を 対 象 として 事業 で ある ため、募集 に ついては 配慮 し ながら 周知 を 行 った。昨 年 度 と 同 程 度 の 日 数 の 開 催 を 行 い、基 礎 学 力 の 向 上 や 学 習 習 慣 の 形 成 を 図 ることが できた。

(2) 幼児教育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市 教 育 支 援 委 員 会	就学前の子供 について、幼児教 育から小学校の 円滑な接続を図 ります。	学 校 教 育 課 福 祉 課 こ ども 保 健 課	A	A	A	A	A	対象の幼児及び 児童生徒に対し て、適切に就学に 向けた判断をする ことができた。
地 域 子 育 て 支 援 事 業	子育て親子の 交流を促進し、子 育ての不安等を 緩和するととも に、子供の育ちを 支援します。	こ ども 保 健 課	A	A	A	A	A	子育て支援セ ンターを2か所 で実施し、育児不 安を抱える保護 者への相談支援 等を実施した。
保 育 園 等 整 備 事 業	保育環境の改 善のため、園舎の 老朽化等による 整備事業に補助 します。	福 祉 課	—	—	—	—	—	事業実績はな かった。

(3) 健康教育・食育の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健康教育推進事業	各種健康診断を実施するとともに、市学校保健会や関係機関と連携して、保健教育の充実を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	市学校保健会や関係機関と連携して、計画通り実施することができた。
定期健康診断	定期健康診断の結果を基に、疾病の治癒等を推進します。	学校教育課	A	A	A	A	A	診断結果を基に、各学校に疾病の治癒等について指導するとともに、再受診について確認をした。
栄養教諭の派遣・活用	各小・中学校に栄養教諭を派遣し、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化等の指導に取り組みます。 また、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。	学校教育課 学校給食センター	B	B	A	A	A	各学校に対して、年通算 102 回、栄養教諭の派遣を実施した。
食に関する指導	栄養教諭を各学校に派遣し、食事の重要性、心身の健康、食品を選択する能力、感謝の心、社会性、食文化等の指導に取り組みます。 各小・中学校に	学校教育課 学校給食センター	B	B	A	A	A	各学校に対して年通算 49 回、栄養教諭を派遣し、「食に関する指導」の授業を行った。

	対して、食中毒やアレルギーの防止に関する指導等を行います。							
給食センター備品等購入事業	老朽化した厨房用備品等については取り替え、学校給食の提供に必要な備品等の適切な管理を行います。	学校給食センター	B	B	B	B	B	予算化された食器洗浄機、ボイラー用軟水器、ハンガー式消毒保管機については、部分的な修繕ではあったが、給食の提供に支障をきたさないよう、適切な管理を行った。
学校給食地産地消推進事業	地元産の食材や加工品を学校給食に取り入れ、阿久根の食の魅力を児童生徒に伝えます。 学期毎に阿久根産の食材を活用した給食を提供することにより、地産地消や地元産の食材等への関心を深め、食文化、地元特産品及び地域の産業について学ぶ食育を推進します。	学校給食センター	B	B	B	B	B	各学期2回の計6回、献立が恒常化しているという課題はあるものの、地元産食材を使用した給食を提供することができ、地産地消や地元産の食材等への関心を一定程度深めることができた。

〈安全・安心な環境〉

(1) 学校規模の適正化の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校規模適正	児童生徒に等しく良好な教育	教育総務課	C	C	B	B	B	学校の統・廃合に係る尾崎小、田

化 事 業	環境の向上をめざし、学校規模の適正化を進めます。							代小、鶴川内中及び阿久根中の対応について、総合教育会議及び学校規模適正化協議会での協議を経て方針を決定し、保護者及び地域住民を対象とした説明・意見交換会を開催することができた。
-------	--------------------------	--	--	--	--	--	--	--

(2) 児童生徒の安全確保

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
ス ク ー ル ガ ー ド ・ リ ー ダ ー 配 置 事 業	児童生徒の安全確保のため、スクールガード・リーダーを活用するとともに、スクールガードの育成を図ります。	学 校 教 育 課	A	A	A	A	A	各小中学校区に3人配置し、計画通り実施することができた。
市 安 全 指 導 法 研 修 会	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審者事案に対する対応、安全に関する取組の充実を図るため、研修会を実施します。	学 校 教 育 課	B	A	A	A	A	計画通り実施でき、各学校の安全点検表の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市 水 難 事 故 ・ 交 通 事 故 防 止 対 策 連 絡 会	水難事故の防止及び交通安全教室によるヘルメット着用の徹底と地域ぐるみの交通事故0運動の実践に努めます。	学 校 教 育 課	B	A	A	A	A	危険個所の現地での確認や、各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。

(3) 良好な教育環境の整備

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設等維持補修事業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童・生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総務課	B	B	B	B	B	校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。
学校施設等整備事業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C	C	B	阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟長寿命化改修工事を実施し、学習環境の改善を図ることができた。 トイレの洋式化については、今後のトイレ改修工事に向けて、阿久根小学校、脇本小学校、三笠中学校のトイレ改修工事設計業務を発注し、完了した。
教職員住宅維持管理事業 (再掲)	老朽化した教職員(校長・教頭住宅)の維持修繕等を行います。	教育総務課	B	B	B	B	B	老朽化のため、修繕が必要な住宅が増加しているが、適切に対応し、概ね維持することができた。

〈市民の豊かな学び〉

(1) 生涯学習の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
生涯学習推進事業	生涯学習講座や社会教育学級を開設し、市民の学習環境の充実と生きがいづくりに努めます。	生涯学習課	A	A	A	A	A	生涯学習講座15講座を開設(新規講座3講座)し、学べる場や活動内容を工夫した。
生涯学習フェア	生涯学習活動の発表等を通して、生きがいのある住みよいまちづくりに取り組みます。	生涯学習課	C	B	B	B	B	生涯学習講座生の素晴らしい発表と、工夫された作品を展示することができた。
各種研修会支援事業	各種研修会を開催し、お互いに支え合う地域づくりに対する意識の高揚を図ります。	生涯学習課	B	B	B	B	B	子ども会、育成会、PTA、公民館長、女性団体など、各種団体の研修会開催を支援するとともに、各種研修会への参加支援もできた。
社会教育関係団体指導者養成事業	社会教育関係団体の指導者を養成し、各団体の活動の充実と活性化を図ります。	生涯学習課	B	B	A	B	B	地区社会教育団体指導者養成事業の運営や地区で開催されている各種社会教育関係団体指導者養成事業への参加を奨励し、指導者養成を図ったが、参加者の確保が課題である。
地域学校協働活動推進	学びの成果を学校支援活動に生かすことので	生涯学習課	B	B	B	B	B	全小・中学校で、地域の方々による学校教育活動の支

進 事 業	きる態勢づくりを進めます。							援を行うことができた。支援ボランティアの確保が課題である。
家 庭 教 育 支 援 事 業 (再掲)	関係団体との連携や家庭教育学級の開設により、家庭教育力の向上を図ります。	生涯学 習 課	B	A	A	B	A	市P連・市子連の合同研修会における親子で参加する講座を実施した。全小・中学校において家庭教育学級を開設し、家庭教育力の向上を図った。 今年度は、本課職員を派遣し、子育てや食についての講話を行った。
「 青 少 年 育 成 の 日 」 の 啓 発 普 及 事 業	親子で地域活動に積極的に参加するよう広報・啓発活動に努めます。	生涯学 習 課	B	B	A	A	A	市子連フェス等の子ども会行事など、児童生徒へのチラシの配布等により周知を図った。親子で参加できるように内容を工夫した。
「 家 庭 の 日 」 の 啓 発 普 及 事 業	家族のふれあう機会を増やしてもらえよう広報・啓発活動に努めます。	生涯学 習 課	C	B	B	B	B	各会合、各研修会で広報・啓発活動を実施しているが、更に普及活動に取り組む必要がある。
成 人 教 育 推 進 事 業 き	成人の学習機会を拡充し、成人の生きがいに努めます。	生涯学 習 課	A	A	A	A	A	生涯学習講座や各種学級を開設し、学習機会の提供を行い、市民の生きがいに努めることができた。

高 齢 者 教 育 推 進 事 業	高齢者を対象とした学級を開設し、高齢者の生きがいに努めます。	生涯学 習 課	B	B	B	B	B	高齢者学級 14 学級を開設。生涯学習フェアにも複数の学級より展示作品の協力があった。
人 権 教 育 推 進 事 業	同和問題をはじめとする人権課題解決のための学習機会の確保や広報等の工夫に取り組み、差別のない社会をめざします。	生涯学 習 課	B	B	A	B	B	高齢者学級において、本課職員を講師として派遣し、人権教育講話を行い、偏見と差別をなくす取組を行った。家庭教育学級での人権講話実施には至らなかったため、今後は、広報や啓発資料を充実させる必要がある。

(2) 子供の読書活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3 年度 評価	4 年度 評価	5 年度 評価	6 年度 評価	7 年度 評価	評価の理由
市 立 図 書 館 等 管 理 運 営 委 託 事 業	市立図書館の管理運営を指定管理者に委託し、利便性の向上と読書活動の活性化を図ります。	生涯学 習 課	A	A	A	A	A	指定管理者である特定非営利活動法人ふれでおと連携し、読書活動の推進に努めた。

(3) 文化財の保護・活用

事業名	事業内容	担当課	3 年度 評価	4 年度 評価	5 年度 評価	6 年度 評価	7 年度 評価	評価の理由
郷 土 芸 能 育 成 事 業	郷土芸能の保存及び伝承を図るために、保存会等への補助を行います。	生涯学 習 課	A	A	A	A	A	活動実績のある 5 つの保存団体等へ運営補助を実施した。

文化財案内板等の整備事業	市内の文化財及び史跡について案内板等を計画的に整備します。	生涯学習課	B	B	B	B	B	市内の案内板等の状況を把握し、必要に応じて修繕や新設を行った。 今後も、優先順位を決め、計画的に修繕等を行っていく必要がある。
ガイドブック等作成事業	文化財や史跡、郷土芸能等をガイドブックにまとめ、市内外へ広報します。	生涯学習課	B	A	A	A	A	ガイドブックを、風テラスあくねロビー及び図書館で配布した。
郷土資料館管理運営委託事業	市郷土資料館の管理運営を指定管理業者に委託し、資料の適切な保存と管理を行います。	生涯学習課	B	B	A	A	A	指定管理者である「ふれでお」において、資料の適切な保存と管理を実施した。

〈スポーツ・文化の振興〉

(1) スポーツの推進・充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
健康づくり事業	健康教室等を開催し、市民の健康づくりを支援します。	スポーツ推進課	A	A	A	A	A	年間計画の3講座を開催した。市公式ライン等を活用し周知に力を入れ、昨年度と比較し3名の参加者増となった。
スポーツ大会推進事業	市民参加のスポーツ大会の開催のほか、各種スポーツ大会の後援を行います。	スポーツ推進課	C	B	B	C	C	区対抗ミニバレーボール大会及び校区体協対抗バレーボール大会を当初計画

								のとおり開催した。校区体協対抗バレーボール大会の参加チームが、昨年度に引き続き少なかったため、校区体協長だけではなく、区長等に対しての周知を含め今後、協議する必要がある。
ス ポ ー ツ 指 導 者 育 成 事 業	スタートコー チ養成講習会の開催による指導者育成と資質の向上を図ります。	ス ポ ー ツ 推 進 課	B	B	B	B	B	スタートコー チ養成講習会が県内で開催され、鹿児島会場において、本市在住の指導者が4名参加することができた。
ス ポ ー ツ 少 年 団 活 動 支 援 事 業	スポーツ少年団の団員確保と活動支援を行うとともに、少年団交歓大会の開催などによる交流を促進します。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	B	B	B	B	昨年度と比較し団員数が12名増加した。また、昨年に引き続きに交歓大会を計画したが、雨天のため中止した。
競 技 会 等 参 加 費 補 助 事 業	全国大会及び九州大会等への参加経費を補助し、競技力の向上を図ります。	ス ポ ー ツ 推 進 課	C	A	A	A	A	申請団体は昨年度と比較し、5件増加した。全国大会で入賞者もあり、競技力向上に寄与できた。
ニ ュ ー ス ポ ー ツ 普 及 事 業 (地 域 づ く	ニュースポーツの講習会による指導者の育成と普及を図るとともに、地域にお	ス ポ ー ツ 推 進 課	A	A	B	B	B	新たにボッチャセットを購入し、市内小学校へ配布を行った。また、一般貸出用と

り事業)	けるスポーツの 活性化を図ります。							して、スポーツ推進課に追加配備し、地域のニューススポーツの普及・活性化を図った。
コミュニティ スポーツクラブ設置 促進事業	様々なスポーツの体験ができるコミュニティスポーツクラブの設置を促進します。	スポーツ推進課	C	D	A	B	B	総合型地域スポーツクラブが昨年度から本格始動した。施設使用に関し、内規等を見直し、スポーツ少年団と同様の支援を実施し、団体の活動が活性化するように努めた。
チャレンジ アップスイミング 教室	水泳の苦手な小学生を対象にした水泳教室を開催します。	スポーツ推進課	D	B	B	B	A	昨年度と比較し、参加者が9名の増となり、水泳教室から閉校式まで当初計画のとおり実施できた。
海の子 カーニバル	たくましい青少年の育成を目的に、主にチャレンジアップスイミング教室受講生を対象とした遠泳を実施します。	スポーツ推進課	D	B	A	D	D	懸案であった阿久根大島近海でのサメ対策に万全を期すことができないことから、泳者の安全性を考慮し、中止した。
海洋性 スポーツ普及 事業	本市の特性を生かしたカヌーの体験教室等を開催し、海洋性スポーツの普及と青少年の健全育成をめざします。	スポーツ推進課	B	D	B	B	A	海洋性普及のため新たに「カヌー体験教室」を実施し、16名の参加者があった。カヌー体験のほか、紙芝居を用い海での安

								全教育、本市の文化財を学ぶ郷土教育等も実施した。 また、ライフジャケットの寄贈を受け、海洋性スポーツ活動の際に活用した。
海洋性 スポーツ指導 者育成	センターインストラクター研修会へ職員を派遣します。	スポーツ推進課	D	D	D	D	D	今後、資格を有する職員の確保が課題である。

(2) 体育施設の整備と活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
総合運動公園施設整備事業	総合運動公園内の体育施設等の整備、改修等を行います。	スポーツ推進課	C	C	B	B	C	長寿命化計画に基づき、多目的雨天屋内運動場内部改修工事を実施予定であったが、足場等の確保が困難であり、工事完了後に控える施設を利用した行事までに完了できないことから、工事の一時中止を行った。 令和8年3月より工事再開予定である。
海洋センター施設整備事業	B&G海洋センターの各施設の改修等を行います。	スポーツ推進課	C	C	C	C	C	今後、計画的に施設の改修を行う予定である。
スポーツイベント	あくねボンタンロードレース	スポーツ推進課	D	A	A	A	A	ボンタンロードレース大会及

ント推進事業	大会及び九州選抜高等学校駅伝競走大会を継続して開催するほか、交流人口の拡大に資するスポーツイベントを検討します。	課						び九州選抜高等学校駅伝競走大会を開催し、両大会とも昨年度を上回る参加人数となり、地域の活性化、交流人口拡大に寄与できた。
スポーツ合宿誘致推進事業	合宿誘致を推進し、施設の有効活用を図るとともに、地域経済の活性化に努めます。	スポーツ推進課	B	B	B	A	B	春季合宿では、昨年度に引き続き、立教大学野球部が合宿を実施するとともに、新潟県の帝京長岡高校硬式野球部が本市では初の合宿を実施し、施設の活用が図られた。
特別国民体育大会推進事業	2023年開催の国体に向けた準備を行うとともに、正式競技のボクシング競技、デモンストレーションスポーツを開催します。	スポーツ推進課	C	C	A	—	—	特別国民体育大会終了により、評価を行っていない。 (令和5年度終了事業)

(3) 文化・芸術活動の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
市総合文化祭	学習機会の発表の場である市総合文化祭を開催します。	生涯学習課	A	A	A	A	A	演芸及び展示の両部門を開催した。 本年度も、例年どおり2日間開催した。 演芸部門は33団体の出演、展示

								部門は37の個人・団体の出展があった。
自主文化事業	市民ニーズに対応した音楽コンサート及び演芸会等を定期的に開催します。	生涯学習課	B	B	B	B	B	ロビーコンサートや映画上映等の14事業を行った。 事業の内容により、集客に差があった。
文化・芸術鑑賞事業	青少年のための芸術鑑賞事業の実施や社会教育関係団体等の鑑賞活動等の支援を行います。	生涯学習課	A	A	A	A	A	自主文化事業や青少年劇場などを実施し、児童生徒の芸術鑑賞の機会の充実を図った。
あくね洋画展開催事業	文化・芸術レベルの向上と市民意識の高揚を図ることを目的に継続して開催します。	生涯学習課	A	A	A	A	A	8月30日から9月7日までの9日間開催し、延べ1,715名の来場者があった。出品数は一般・高校生の部206点、ジュニアの部1,121点の出品があった。
市立図書館等整備事業	市民のニーズに対応できる情報拠点としての役割を発揮できるよう、施設整備について検討を重ねます。	生涯学習課	D	C	B	B	B	新市立図書館の設計変更業務が完了し、建築工事及び設備工事の契約を締結した。令和8年4月から着工し、令和9年度中の完成を予定している。
合宿等誘致推進補助事業	文化活動を行う団体が市内で合宿等を行う費用を補助します。	生涯学習課	C	C	C	C	C	昨年度に引き続き、今年度も、補助金の申請はなかった。

方向性

4 社会全体で子供を育てます

〈地域とともに歩む学校〉

基本施策

(1) 地域の拠点としての学校づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
『地域が育む「かごしまの教育」県民週間』	現在実施している授業参観等、保護者・地域住民への学校開放に関わる行事等を、可能な限り、この期間に実施します。	学校教育課	A	A	A	A	A	適切な広報を行うとともに、各学校においては、特色ある学校行事を実施した。
学校運営協議会 (再掲)	本年度の年間計画、活動等を確認するとともに、各学期の活動についての話し合いを行います。 各学期の評価・反省を行うとともに、次年度の教育課程、教育活動等について確認します。	学校教育課	A	A	A	A	A	全ての学校が学校運営協議会を設置した。学校運営の充実をめざした協議を行うことができた。
学校施設等維持補修事業 (再掲)	校舎等において、老朽化などにより修繕が必要な箇所の維持補修を行います。 児童生徒が安全・安心の中で充実した教育活動が行えるよう、施設の維持・修繕に努めます。	教育総務課	B	B	B	B	B	校舎等の老朽化により、修繕が必要な箇所が増えているが、緊急性を考慮し、優先順位を付け、施設の維持・修繕に努めた。

学 校 施 設 等 整 備 事 業 (再掲)	学校規模適正化の状況と合わせ、平成30年7月に制定した阿久根市学校施設長寿命化計画に基づき、大規模改修や改築による整備を行います。 また、トイレの洋式化を進めます。	教育総務課	B	B	C	C	B	阿久根小学校20号棟及び阿久根中学校23号棟長寿命化改修工事を実施し、学習環境の改善を図ることができた。 トイレの洋式化については、今後のトイレ改修工事に向けて、阿久根小学校、脇本小学校、三笠中学校のトイレ改修工事設計業務を発注し、完了した。
---------------------------------	--	-------	---	---	---	---	---	---

(2) 青少年活動の充実

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
少 年 団 体 活 動 支 援 事 業	ボランティア活動や研修等を通して、子ども会活動の充実やジュニアリーダーの育成を図ります。	生涯学習課	B	A	A	A	A	子ども会長による研修会、市子連フェスによる創作・体験教室の充実をはじめ、地区ジュニアリーダー養成事業においては、多くの会員が参加し、ボランティア等を通じてジュニアリーダーの育成に努めた。
体 験 活 動 推 進 事 業	あくねキッズスクール等、阿久根の自然を生かした体験活動	生涯学習課	B	B	A	A	A	寺島宗則の功績を学び、阿久根の自然や人との交流活動等を通

	実施し、たくましい青少年の育成を図ります。							した郷土に親しむ内容で実施し、主体的な体験活動になるように実施できた。
--	-----------------------	--	--	--	--	--	--	-------------------------------------

(3) 学校施設の有効活用

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
学校施設開放事業	体育館等を開放することにより、住民の健康づくりと社会体育の普及に努めます。	スポーツ推進課 教育総務課	B	B	B	B	B	少年団活動を中心に使用があり、地域の社会体育の普及、促進が図られた。
福祉部局との連携	定期的に放課後対策等について、教育委員会と福祉部局で協議の機会を設定するとともに、実施状況や問題などを常に共有し、事業検証や問題解決に対応します。	教育総務課 学校教育課 福祉課	A	A	B	A	A	放課後対策で開放している学校施設への状況把握や問題について、福祉部局と連携を図り、問題解決に概ね対応できた。

〈地域全体での見守り〉

(1) 地域で見守る環境づくり

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
青少年健全育成事業	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A	A	A	警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。 また、各小・中学校の終業式に合

								わせ、下校時における見守り活動も実施した。
--	--	--	--	--	--	--	--	-----------------------

(2) 子供を見守るネットワークの構築

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業 (再掲)	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小学校区を巡回指導します。	学校教育課	A	A	A	A	A	各小学校区に3人配置し、計画通り実施することができた。
市水難事故防止対策連絡会	海、堤防、河川、河口付近、湖沼、池、側溝、港、その他遊泳禁止区域における児童生徒の事故を防止するため、現地視察を行い、水難事故防止対策を徹底します。	学校教育課	B	A	A	A	A	危険個所の現地での確認や、各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。
青少年健全育成事業 (再掲)	市青少年問題協議会や校外生活指導連絡会を開催し、関係機関・団体と連携を図りながら、青少年の健全育成に努めます。	生涯学習課	B	B	A	A	A	警察や学校及びPTAと連携して、長期休業中や花火大会における街頭補導など防犯活動を展開した。 また、各小・中学校の終業式に合わせ、下校時における見守り活動も実施した。

(3) 警察との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
スクールガード・リーダー配置事業 (再掲)	学校や通学路における安全を確保するために、警察官OBや防犯の専門家等をスクールガード・リーダーとして委嘱するとともに、各小学校区を巡回指導します。	学校教育課	A	A	A	A	A	各小学校に適切に配置し、計画通り実施することができた。
市安全指導法研修会 (再掲)	地震、津波等の非常災害時の危機管理、不審者事案に対する対応、その他安全に関する研修会を実施します。	学校教育課	B	A	A	A	A	計画通り実施でき、各学校の安全点検表の見直しについて充実した協議を行うことができた。
市水難事故・交通事故防止対策連絡会 (再掲)	水難事故の防止、交通安全教室によるヘルメット着用の徹底と、地域ぐるみの交通事故0運動の実践に努めます。	学校教育課	B	A	A	A	A	危険個所の現地での確認や、各学校と関係機関による積極的な意見交換を行うことができた。

〈切れ目のない支援〉

(1) 地域、関係機関との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
教育相談	関係機関からの情報や就学時健康診断を通して、未就学児の特性を把握し、必要に応じて、教育相	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校や園、保護者の要望に応じて、計画通り実施できた。

	談、発達検査等を実施します。また、就学相談を行います。							
移行支援シートの活用	移行期における学校間連携について、文書等により確実に引継ぎを行います。	学校教育課	B	A	A	A	A	各園や鶴翔高等学校、療育機関との連携を図ることができた。また、今年度から個別の教育支援計画の形式を市で統一し、活用をしている。

(2) 福祉との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
県スクールカウンセラー配置事業 (再掲)	問題行動、不登校等に適切に対応するためスクールカウンセラーを配置します。	学校教育課	A	A	A	A	A	小・中学校の要請に応え、適切に配置することができた。
スクールソーシャルワーカー活用事業 (再掲)	関係機関との連携・調整を図り、児童生徒に関する諸問題の解決を図ります。	学校教育課	A	A	A	A	A	問題行動や不登校への対応に加え、自立支援教室「あくねす」においても、児童生徒に寄り添った対応を実施することができた。
子ども・子育て会議 放課後児童部会	全ての就学児童の放課後対策と学校施設の放課後事業への活用について、協議する場を設けます。	福祉課 教育総務課 学校教育課	D	D	D	D	D	放課後児童部会は、開催することができなかった。

(3) 医療との連携強化

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
児童生徒の健康診断	学校保健安全法第13条に基づき、全ての児童生徒の健康診断を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	市学校保健会や関係機関と連携して、計画通り実施することができた。
就学時健康診断	学校保健安全法の第11条に基づき、次年度に小学校に入学予定の幼児の健康診断を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	計画通り実施し、診断結果を基に、疾病の治癒等について保護者に周知した。
学校フッ化物洗口事業	むし歯予防のため、各小・中学校において、フッ化物洗口を実施します。	子ども保健課 学校教育課	A	A	A	A	A	市内全ての学校で、実施計画に基づき、児童生徒へのフッ化物洗口を実施した。

〈企業等との連携・協働〉

(1) 高校との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
小・中・高学力向上研修会 (再掲)	市内の小・中学校と県立鶴翔高等学校が、共通テーマを設定し、研究授業等を通して学習指導法の改善に取り組めます。	学校教育課	A	A	A	A	A	鶴翔高校・鶴川内中・折多小が授業を提供して研修を行った。 継続した取組から、「学習者主体の授業」に向けた授業改善と市全体の学力向上策の改善が図られている。
あくねよかとこ教育	あくねよかとこ教育を通して、市内の小学5年	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校の実態に応じた、キャリア教育の充実を

事業 (再掲)	生から中学3年生の児童生徒が、「将来をどう生きるか？」について考えるとともに、学ぶ意欲を高め、学力の向上に寄与します。							図ることができた。
------------	---	--	--	--	--	--	--	-----------

(2) 企業との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
あくねよかとこ教育事業 (再掲)	「あくねよかとこ先生」に登録している方を講師として学校に招き、キャリア教育の一環として、講話や体験活動等を行います。	学校教育課	A	A	A	A	A	各学校で、キャリア教育の充実を図ることができた。

(3) 地域との連携・協働の推進

事業名	事業内容	担当課	3年度 評価	4年度 評価	5年度 評価	6年度 評価	7年度 評価	評価の理由
地域学校協働活動推進事業	地域と学校をつなぐコーディネート機能の充実を図り、個別の活動の総合化・ネットワーク化を図ります。	生涯学習課	B	C	B	A	A	生涯学習課に推進本部を置き、学校に対する協力活動など、コーディネートを行うことができた。 また、人材リスト等の整備にも努めた。